

第13回災害対策本部会議における知事コメント

本日は、八代市で39.0度、熊本市で観測史上最高となる40.3度を記録するなど、本県で初めてとなる酷暑日となりました。その中において、日々刻々と変わる被災地のニーズに対し、懸命にご対応いただいた国や関係機関、県庁の皆様に、心から感謝申し上げます。

先ほど、危機管理防災局から報告がありましたように、停電の解消や皆様方の広報・周知などのご尽力により、「熱中症」の搬送件数は減少傾向にありますが、引き続き、暑さへの備えを万全にしていける必要があります。

本日から受付を開始した「ホテル避難」については、対象市町村をさらに拡大し、「甲佐町」を追加しました。これで、宇土市、宇城市、八代市、氷川町と合わせ、5市町で実施することになります。今後も、喫緊の課題である「熱中症」への対策として、ホテル避難が必要な方へのアプローチを強化していきます。

他方、週末にかけて接近する見込みの「台風13号」の進路や、それに伴う雨への備えについても準備を進めていかなければなりません。そこで必要となるのが、「ブルーシート」です。

現在、県において「避難所用」「住家用」で必要となるブルーシートの数を調査し、その結果をもとに、国と連携して調達を進めております。明日以降、市町村の各拠点への配送を始めていく予定です。

地震で傷んだご自宅を保護し、大切な家財や思い出の品、文化財などを守ることも重要な被災者支援だと考えています。国・県で連携を強化し、スピード感をもって対応して参ります。

そして、ここで、皆様に大事なご報告があります。

本日（8月3日）、天皇皇后両陛下 及び 愛子内親王殿下（ないしんのうでんか）におかれましては、この度の令和8年熊本地震で被災した本県に対し、側近を通じて、お見舞いのお気持ちを伝えられましたので、ここで読み上げさせていただきます。

（別紙：読み上げ）

天皇皇后両陛下及び愛子内親王殿下（ないしんのうでんか）の被災地へのお心遣いに対し、県民を代表して心から感謝を申し上げます。また、そのお気持ちを励みに、復旧・復興に向けて、なお一層努力して参ります。

さらに、本日、高市総理に熊本入りしていただき、氷川町など被害が大きかった地域を視察していただきました。この会議の後に、本県との意見交換を予定しています。国の迅速な支援に対する感謝の気持ちをお伝えし、現在の熊本の状況、そして、復旧・復興に向けた被災地の思い、そして今日お集りの皆様の頑張りについて、私から直接、お伝えしたいと思います。

今後も、国や関係機関との連携を強化し、被災されたお一人お一人に寄り添った支援を具体的にそして積極的に進めて参ります。明日以降も暑さが続きますが、みんなで力を合わせて取り組んでいきましょう。よろしくお願いします。

側近を通して伝えられた、この度の地震に対する、
天皇皇后両陛下および愛子内親王殿下のお見舞いのお気持ち

この度は多くの尊い命が失われ、お悼（いた）みになっておられます。

それとともに、建物の倒壊や火災、爆発、道路の損壊など、甚大な被害が生じている
ことに深く心を痛めておられます。

被害にあわれた方々、とりわけ断水が続く厳しい暑さの中で避難生活を送っておられる
方々に心を寄せ、お見舞いのお気持ちをお持ちです。

同時に、懸命に支援活動や応急・復旧に当たっておられる方々に対し、おねぎらいの
お気持ちをお持ちです。

10年前の地震からの復興に知事以下、着実に進めてこられた中で、熊本が再び大きな
被害を受けたことに心を痛めておられます。

両陛下と内親王殿下（ないしんのうでんか）は、1日も早く被災された方々が、安心
して日々の生活を取り戻されること、そして被災地の復旧・復興が着実に進むことを
心から願っておられます。

<以上>